

# 議事録

監事	理事長	作成者
		

テーマ	第1回理事会	No.	日聾水協18-1
日時	2018年04月14日(日曜日) 10:00 ~ 17:00		
場所	一般社団法人日本ろう者水泳協会事務所		
出席者	向 鉄也・豊田 律・鈴木しのぶ・大平英一・猪飼 聡・杉野 貴宏 京都市聴覚センターから手話通訳2名		
資料			

## 内 容

理事4名及び監事1名が出席し、定款第37条及び40条により理事会が成立していることを確認した。定款39条に基づき向鉄也会長が議長となり、以下の審議を行った。

### 【議案1】2017年度決算について

財務担当の杉野さんから2017年度の決算について説明した。また収支実績を報告し、実績による予算の比率を説明した。

【結論】理事全員が承認。

### 【議案2】2018年度予算確認

財務担当の杉野さんから2018年度の予算について説明した。2017年度の実績を考慮して予算を組み立てた。

【結論】理事全員が承認。

### 【議案3】2017年度事業報告について

豊田理事と鈴木理事から2017年度の実績について報告した。

【結論】理事全員が承認。

### 【議案4】定期総会について

向会長から定期総会について資料など説明した。また、参加者人数の状況について報告した。

【結論】資料の一部を変更することで理事全員が承認

### 【議案5】新理事紹介

豊田理事から来期の新体制について説明した。新体制について理事全員から承認をもらった後、新理事を紹介した。(竹中新会長、藤田新理事)

【結論】定期総会にて承認したのち、新体制がスタートすることで理事全員承認。

### 【議案6】2018年度事業について

豊田理事と鈴木理事から2018年度の実績について報告した。また、JSCからの助成額によって事業を変更する可能性があることも説明した。

【結論】理事全員が承認。

### 【議案6】第13回日本ろう者水泳選手権大会について

大平理事から日本ろう者水泳選手権大会の準備の進捗について説明した。6月中に奈良県水泳連盟、奈良県との打ち合わせを行う予定。

大会実行委員会のメンバーについて向会長が引き続きスタッフを引き受ける。またtoto助成へ申請したので来月には内定をもらう予定。

【結論】引き続き、準備進捗を報告することで理事全員が承認。

### 【その他】

#### 会員種別について

定時総会において高校生以下の会員が参加しても判断ができないし、代理として保護者が参加しても規則には相応しくない。

## 内 容

そのため、身体水泳連盟の会員種別を参考して正会員、競技会参加会員、支援会員、賛助会員の4つにする。正会員は理事、または当協会の発展するために協力してくれる会員を対象とする。それにより、理事会にて承認を得ることで定時総会の議決につながるので運用効率化を高めるメリットが出てくることから会員種別の見直しを行いたい。

【結論】理事全員が承認。

次回の理事会は7月に事務所にて開催することを理事全員が承認

以上

# 議事録

監事	理事長	作成者
		

テーマ	第2回理事会	No.	日聾水協18-2
日時	2018年07月21日(日曜日) 10:00 ~ 17:30		
場所	一般社団法人日本ろう者水泳協会事務所		
出席者	豊田 律・藤田奈保子・鈴木しのぶ・大平英一・猪飼 聡 京都市聴覚センターから手話通訳2名		
資料	M元会長の行動について 濱田さんのプロフィール		

## 内 容

理事4名及び監事1名が出席し、定款第37条及び40条により理事会が成立していることを確認した。定款39条に基づき豊田理事長が議長となり、以下の審議を行った。

### 【議案1】新理事体制について

今年から事務局をサポートできるようになり、事務局長を含む3名体制で機能を強化する。最初は十分な引継ぎと連携ができなかったが、少しずつ改善されており、引き続き皆さんからのご協力をお願いする。強化事業は鈴木理事、日本大会事業は大平理事が中心となって進める。

【結論】強化事業や日本大会事業に関してはスタッフの役割を明確することを条件に理事全員承認。

### 【議案2】日本大会について

#### 1、大会実行委員会について

委員長は大平理事、スタッフは榎本さんとなり、必要に応じて増やす予定。

#### 2、萩野選手の招待について

川崎顧問の知人である船田氏が作新学院の学院長を務めており、OBである萩野公介選手を紹介することができることから大会の招待選手として検討する。招待選手となると大会は盛り上がることは間違いない。

#### 3、来賓について

川崎顧問の知人である今井絵里子議員を来賓として検討する。今井絵里子議員は知名度が高く、当協会にとってよいPRができると思う。

#### 4、予算について

今年から初めてTOTO助成を活用する。助成は100万円までとなっておりますが、全て150万円以上使わないといけないのでうまく工夫しなければなりません。

【結論】1のスタッフにおいて豊田理事長も加える。他は必要に応じて集める。2の萩野選手を招待することはとてもいいことだが、謝金、旅費を支払わないといけないが、当協会は余裕がないため当協会の事情を説明してから依頼した方がよい。もう一度確認しないとけない。4の会場の運営会社をお願いして予算をうまく使うようにする。以上で引き続き確認することで理事全員承認。

### 【議案3】M・T元会長の行動について

別紙のM・T元会長の行動により、定款の第33号の(1)と(5)に当てはまり、会長であれば解任という処分に値する。現在は会長から降りているが、今後のためにも処分について話し合いしたい。また当時、専務理事だった豊田も一部知っていながら内部告発をしなかったことでその責任も負わなければならない。

【結論】早く倫理委員会にて向元会長に対して聴聞会を開催する。そのまえに弁護士である竹中会長に相談する。という流れで理事全員承認。

### 【その他】

1、奈良合宿について 進捗報告、新スタッフについて(濱田尚氏)※別紙参照

【結論】映像スタッフとして参加を理事全員承認。

2、浜松合宿について スケジュール確認、宿泊について

【結論】引き続き確認する。

3、グアム合宿について 進捗報告

【結論】そのままでは予算オーバーになるのでコストダウンを進める。引き続き確認する。

4、ホームページについて デフリンピック招致バナーについて

【結論】デフリンピック招致バナーをホームページに記載することで理事全員承認。

内 容

次回の理事会は秋頃に事務所にて開催することを理事全員が承認

以上

# 議事録

監事	理事長	作成者
		

テーマ	第3回理事会	No.	日聾水協18-3
日時	2018年10月2日(火曜日) 10:00 ~ 17:00		
場所	一般社団法人日本ろう者水泳協会事務所		
出席者	豊田 律・鈴木しのぶ・大平英一・藤川彩夏・猪飼 聡 京都市聴覚センターから手話通訳5名(交代制)		
資料	日本大会事業について 聴聞会議事録 浜松合宿のスケジュール 新記録樹立申請書		

## 内 容

理事5名及び監事1名が出席し、定款第37条及び40条により理事会が成立していることを確認した。定款39条に基づき豊田理事長が議長となり、以下の審議を行った。

### 【審議事項】

#### 【議案1】日本大会事業について

##### 1、日本実行委員会の体制と仕事分担について

大平理事の勤めているアクアテック株式会社に任せるという話が出たが、全部任せることは良くないということで、お手伝いする形でいくことを出席理事に承知するようにお願いした。別紙に分担と後援の確認など実施した。後援についてまだ確認していないところを早めに確認するように依頼した。分担は日本大会実行委員会と水泳連盟と親の会が協力してもらうようにお願いすることにした。後日、大平理事が奈良県水泳連盟と打合せで分担を決定して頂くことにした。

##### 2、メールでの話し合った内容から再確認

大平理事が大和郡山市に電話で大会名の確認をした。「in」が付けたままだったため、「in」を無くして改めて修正して送るようにした。

【結論】理事全員が承認。

#### 【議案2】M・T元会長の聴聞会および処分について

聴聞会の報告を確認し、今後の処分について検討した。竹中会長から意見として、「戒告処分」が適当とのことであったので、再度竹中会長に電話で内容を確認した。

【結論】理事全員が処分は「戒告」とすることに賛成した。

#### 【議案3】F・N理事の辞任理事の役割について

F・N理事の辞任申し出に至る経過について豊田理事長が説明し、今後の事務局長の代理はどうかと話し合った結果、代理として杉野さんを候補としてあげた。杉野さんを代理にする場合は、豊田理事長がフォローをする。

【結論】F・N理事に辞任届を豊田理事長からメールで送って頂き、本人に書いてもらう形にすることで理事全員が承認。

#### 【議案4】強化事業報告

##### 1、助成について

今年度の助成金が2000万から1820万になったため、事業を減らすことを説明した。

##### 2、役割について

協会の体制を明確するために強化と大会の2つの業務に分け、分担を決めてスムーズに活動していくこととした。今後の活動については、鈴木理事が主に強化を担当することと、10月浜松合宿の中で強化会議を行い、来年度の活動スケジュールについて話し合っていきたい。

【結論】理事全員が承認した。

### 【その他】

1、浜松合宿について スケジュール確認、宿泊について バスと朝食の時間について確認した。

2、グアム合宿について 進捗報告 不参加者は、豊田理事長、藤田理事、村岡選手  
コストダウンするために、ツインにして部屋割りは、鈴木理事が担当する

3、ユースデフリンピックについて 斎藤選手本人へ対応について

## 内 容

### 4、協会のメールについて

パソコンが見れない、メールが届いていない人がいたため、今後の情報共有するときのメール方法について見直す必要がある。

【結論】上記4点について引き続き対応することで理事全員が承認した。

次回の理事会は11月にスイムピア奈良にて開催することを理事全員が承認

以上

# 議事録

監事	理事長	作成者
		

テーマ	第4回理事会	No.	日聾水協18-4
日時	2018年11月24日(土曜日) 10:00 ~ 12:00		
場所	奈良スイムピア		
出席者	豊田 律・鈴木しのぶ・大平英一・藤川彩夏・猪飼 聡 奈良聴覚センターから手話通訳2名(交代制)		
資料	事務所移転について		

## 内 容

理事5名及び監事1名が出席し、定款第37条及び40条により理事会が成立していることを確認した。定款39条に基づき豊田理事長が議長となり、以下の審議を行った。

### 【審議事項】

#### 【議案1】事務局の移転について

現在の協会事務所は契約切れるため、来年度の予算が厳しい予想なので、出来るだけ早めに移転した方が良さそうと思い、新事務所を探したことを報告した。

【結論】貸主情報・利用条件・家賃などを確認しながら話し合った。特に家賃は考え直す必要があると指摘したため、移転については保留した。

#### 【議案2】強化費について

ゴム合宿のコストダウンにより、強化費が少しながら黒字になったため、参加者の負担がなくなった。日本大会の負担を軽減するために、スタッフの宿泊費、交通費は強化費から出すことになった。ただし、河合さんと大平さんの宿泊は日本大会から出すことにした。

【結論】強化費と体制整備のバランスを気をつけて進むようにと話し合うことで理事全員が承認。

#### 【議案3】今井絵里子議員の当協会の顧問について

今井議員は知名度が高く人脈も多く、今井議員から積極的に応援して下さること、さらにパイプを強くしたいという理由で当協会の顧問をお願いしたいと豊田理事長から提案した。

【結論】理事たちは色々な意見が出たがやはり、まだ、当協会とのお付き合いの時間が短いということで、保留した。

#### 【議案4】当協会の法人について

今の一般社団法人のままだと毎年均等割り(7万円)を払わないため、均等割りを免除できる公益法人かNPO法人への移行を豊田理事長が提案した。

【結論】猪飼監事からは障がい者水泳協会に支払っている会費を、今後、会員数に応じた金額にしてもらえるよう障がい者水泳協会に相談してみることで保留した。

### 【その他】

#### 1、強化関連

強化指定選手へ決定通知書と登録通知書に内容を見直してから強化指定選手へ送りたいと思うので確認しながら修正を進めたい。

2、監事からJPCに報告するために事業の報告書作成したほうが良いと思う。

【結論】引き続き対応していくことで理事全員が承認。

次回の理事会は来年2月に京都市内にて開催することを理事全員が承認

以上

# 議事録

監事	理事長	作成者
		

テーマ	第5回理事会	No.	日聾水協18-5
日時	2019年2月10日(日曜日) 10:00 ~ 17:00		
場所	下京区いきいき活動センター		
出席者	豊田 律・鈴木しのぶ・大平英一・藤川彩夏・猪飼 聡・杉野貴宏(会計担当) 京都聴覚センターから手話通訳2名(交代制)		
資料	日本大会の実施報告書 収支報告書 強化指定選手規程(修正版) グラム合宿の報告書		

## 内 容

理事5名及び監事1名が出席し、定款第37条及び40条により理事会が成立していることを確認した。定款39条に基づき豊田理事長が議長となり、以下の審議を行った。

### 【審議事項】

#### 【議案1】事務所移転について

12月に杉野さんと一緒に引越し作業を行い、無事引越した。新しい地図の案内は後日で共有する。前の事務所の1~3月分家賃の返金は済ませてある。

【結論】理事全員が承認

#### 【議案2】協会体制の見直し、会員及び会費について

##### 1、協会体制の見直し

強化費とコーチ養成と設備だけは見直す必要がある。JPCのメール受信の担当は杉野さん・鈴木理事・豊田理事長とする。担当分担の業務は必ず情報共有すること。メールが来たら理事たち、お互いに確認できるように共有しておく。

##### 2、会費及び会費について

鈴木理事からメールで共有するので全員確認できたら4月から振り込みできるようにする。会費についての案内は事務員と鈴木理事と一緒に確認しながら会員へ送る予定。

【結論】理事全員が承認

#### 【議案3】日本大会について(今年度の反省点と来年度への課題)

別紙(事前準備と競技運営の反省点と総評)で確認を行った。課題はいくつかある。来年は参加人数50人を目指したい。そのためには、PRが必要。どんな方法でPRするかを議論した。今回は担当者の辞任で分担ができなかったことから来年からはきちんと分担を決めてから動きたい意見があった。運営する金額を見直す必要はあった。

【結論】今年度の反省点と来年度への課題を踏まえて引き続き情報共有しながら進めることで理事全員が承認。

#### 【議案4】定期総会について

5月6日(月) 合宿終了後午後1時から行うことに決定した。場所は後日鈴木理事が確認する。

【結論】引き続き報告してもらうことで理事全員が承認。

#### 【議案5】強化事業について

2月3日(日) 強化会議実施した内容を共有した。修正した強化指定選手規程を確認した。担当分担の再確認と指導するグループの見直しを行った。シニア・社会人組の担当は平田さん、ユースとジュニア組の担当は鈴木理事と藤川理事に決定した。今後の国内合宿で濱田コーチのフォーム分析に力を入れたい。平田さんが作成したグラム合宿の報告について共有した。

【結論】理事全員が承認。

#### 【議案6】国際大会の代表選手およびスタッフについて

3月24日の選考委員会にて決定する。決定された内定選手とスタッフについては協会ホームページで公表する。

【結論】理事全員が承認。



## 内 容

【議案7】平成30年度事業報告について、平成30年度決算について

【結論】引き続き、事業報告または会計処理が完了次第、報告してもらうことで理事全員が承認

【議案8】平成31年度事業計画について、平成31年度予算案について

杉野さんが作成した別紙(日本大会の収支報告書)を全員と一緒に確認しながら説明を行った。

【結論】引き続き、事業計画または予算案完了次第、報告してもらうことで理事全員が承認

【議案9】スポンサーについて

日本大会の助成金申請において落選したので急遽、動かないといけない。豊田理事長が3月中に会社を訪ねる予定。

【結論】引き続き報告してもらうことで理事全員が承認。

【議案10】 チームドクターについて アンチドーピング検査について

講習会は5月6日に研修会を実施する予定。検査は日本大会で実行する予定。担当の河合さんがパラ春季記録会へ行って検査を視察してもらう。ドクターについてはなかった。アンチドーピング検査についての説明会は2月26日にある。

【結論】引き続き報告してもらうことで理事全員が承認。

次回の理事会は4月に事務所にて開催することを理事全員が承認

以上